

8 月 活 動 記 録 ～夏休み期間中に行った主な活動等～

7月26日(月) **教育相談校内研修**



スクールカウンセラーの〇〇様を講師に、教育相談の校内職員研修会を行いました。カウンセリングの手法を使った教育相談スキルを学ぶことにより、児童理解や心に寄り添った指導が一層できるようにと、講話と実習を交えた形で実施していただきました。

教育相談の視点・方法を学んだあと、二人一組になって児童役・教師役を交互になるようにして、実習をしました。

仮想事例の相談シナリオを活用して

実際にやりとりすることで、教育相談における大切な要素の意味が具体的に理解することができ、とても有益な研修となりました。

7月28日(水) **学校評価検討会**

1学期の取組や活動を振り返り、課題や改善の方向について、全職員で協議を行いました。子どもたちの成長等を全職員で確認し合ったり、児童・保護者アンケートの結果について分析したりして、今後の取組をどのように進めていくかと、教育活動の一層の充実に向けて話し合いました。

学力向上に関しては、学力テストの問題を実際に解いてみて、子どもたちがしっかり理解、習得するためにはと、授業で大事にしていくこと、ポイント等について知恵を出し合いました。

評価の結果や今後の方針・取組等については、後日、お伝えしていくようにします。



この日午後、「人権教育、同和教育研修会(授業づくり)」を実施

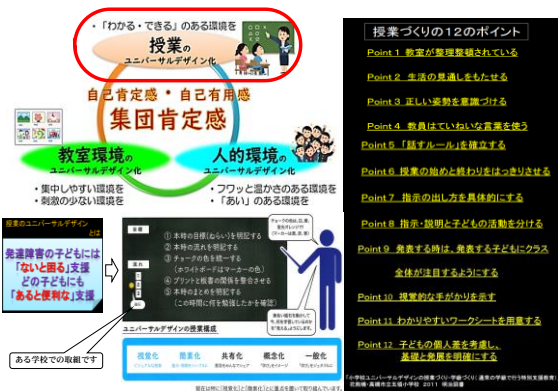
7月29日(木) 授業におけるユニバーサルデザインの研修会



燕北中学校区の3校では、「授業におけるユニバーサルデザインの推進」にも重点を置いて取り組んでいます。みんなが分かる授業、児童生徒の意欲を一層高められる授業を目指して、授業づくりや教室環境に工夫・配慮を行うようにしています。

この日の研修会では、上越教育事務所桑原正博指導主事様が作成された研修動画を活用して、授業のユニバーサル化等について研修を深めました。

特に、『授業づくりの12のポイント』は、普段から意識するだけですぐに取り



入れられることばかりで、2学期からの授業の中で生かしていこうと、全教員が実践意欲を高めていました。

8月2日(月) 燕市「読解力」育成プロジェクト 講演会

燕市教育委員会では、今年度から「読解力」育成を研修の柱にして進めています。「読解力」育成の重要性、必要性についての理解を深めることをねらいとし、市内全小・中学校の教員を対象にしたのオンライン研修会が行われました。

「読解力」と聞くと国語のイメージが浮かびますが、国語だけでなく各教科で定着していくことが重要であることを教えていただきました。また、「日本の中高生の多くは、中学校の教科書の文章を正確に理解できない。」と、事例を挙げながら、その理由と解決のための手だて等のお話も聞け、授業づくりの大事なポイントについて学ぶこともできました。

今後、本校でも様々な取組や改善を取り入れていく予定でいます。



8月18日(水) ICT研修会 ～GIGA スクール・Chromebook 活用～



GIGA スクール構想の推進により、本校でも1人1台タブレットを活用した教育活動(授業・その他)を実施しています。この日は、ICTサポーター〇〇先生を講師に、Chromebook 活用研修会を実施しました。



「新しいことが多くありますので、まずは先生方が慣れることから始めるのが重要です。」と、“試しに使ってみる”ようにと、実習メインの研修です。

不安げな表情も見られましたが、フランクな雰囲気の中で操作講習が行われ、みんなの表情は徐々に明るくなっていきました。

授業等での活用だけでなく、日々の学校での仕事で使える活用方法なども教えていただき、「ラクで便利」と、様々な場面で日常的に使う頻度が増えそうな感じを受けました。

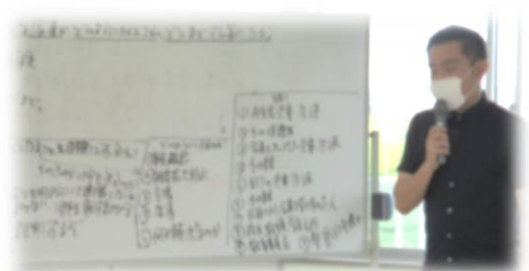
8月19日(木) 燕北中学校区合同「スクールロイヤー研修会」

燕北中学校、小中川小学校、松長小学校の合同研修会。今年は、弁護士の〇〇〇〇様を講師に、「スクールロイヤー研修会」を実施しました。

テーマ『いじめの事案や対応、解決策について学んで、今後の取組・指導に生かそう』のもと、“いじめ防止対策推進法”の理解や学校等の各種義務などについて、丁寧に説明していただきました。

グループワークの時間もたっぷりと設け、架空事案をもとにした具体的対応について話し合い、対応をしていくときに大切にしなければならないこと等、どのグループも活発な意見交換を行っていました。

専門的な立場の方からの指導・助言は、とても参考になりました。



職員作業 ～子どもたちがより快適に学校生活を送れるように～



右の写真の、上半分と下半分を比べると、大きく違っていることが分かることと思います。

「子どもたちがより快適に学校生活を送れるように…」と、“廊下のピカピカ大作戦”が夏休み中に行われました。



専門の機器を借用してきて、夏休み期間中ずっとの作業で汚れをきれいに落とし、ワックスを上塗りして、見違えるほどのピカピカ廊下に大変身したのです。

他にも、「図書館の大改造作戦」も行いました。

これまで本校では、図書館とパソコン室が同じ部屋となっていました。1人1台タブレット Chromebook が導入され、それを主に教育活動が行われることになったため、パソコン室として利活用する機会が減りました。そこで、図書館機能の充実や利用促進を図るため、蔵書スペースを大きく広げるようにしました。

《本棚への蔵書整理は後日実施予定》



この他にも、この夏休み期間中を使って、校舎整備・美化などのいろいろな作業がありましたが、“子どもたちのために”と力を合わせ、汗一杯になって、取り組んだ職員のみみなです。

2学期が始まって登校してきた子どもたちが、「わー！すごーい！」とニコニコ笑顔で喜んでくれたらと、期待ワクワクでいっぱいです。